

重要取組シート

産業振興局 農政部 農水産課

取組項目	地産地消の農業の推進
現状・課題	【現状】 (農業祭) ○大仙公園内の 2 会場で約 45,000 人が来場し、とれとれ市や花市の前には長蛇の列ができ、12 時頃に野菜は完売するなど盛況であった。農家の直売コーナーやキッチンカーでも「堺のめぐみ」を提供したほか、『堺伝匠館』等とも連携し伝統産業品等の展示販売を行った。来場者アンケートによると幅広い世代が来場しており、農業機械の展示など体験型のコンテンツはファミリー層を中心に人気があった。 (堺のめぐみ) ○農業振興ビジョンに基づき、堺産農産物の地域内利用の促進に重点的に取り組んできた結果、堺市基本計画の KPI (下欄参照) 55%を令和 4 年度 62.5%で達成している。 (オーガニックビレッジ) ○本市の農地の多くは水田であり、主に化学農薬、化学肥料を用いた水稻の栽培が行われている。その一方で、酪農団地では多くの乳用牛が飼育されており、牛ふん堆肥が生産されている。こうした状況を踏まえ、昨年度に牛ふん堆肥を用いた水稻栽培を行い、収穫量や品質など良好な検証結果が得られ、また試食販売も実施した。 【課題】 (農業祭) ○農業振興に向けた体験型コンテンツの充実により、来場者の満足度を向上させることや、次世代への訴求を図ること。 (堺のめぐみ) ○市民が堺産農産物に触れる機会を増加させるため、堺産の表示の推進と販売場所を充実化するなどの取組を推進すること。 (オーガニックビレッジ) ○資源の地域内利用を進めるため、牛ふん堆肥を用いた水稻栽培に取り組む生産者を増加させるほか、収穫した米の市民への周知と消費拡大のための効果的な PR や、水稻に限らない取組が必要であること。
取組の内容	(農業祭) ○民間事業者との連携や、昨年度のアンケート結果などを踏まえての、友好都市の特産品の出店等、コンテンツを充実化することで、全世代へ「堺のめぐみ」や本市並びに関係産業等の魅力を発信する。 (堺のめぐみ) ○本市関係施設や量販店での販売イベント等を積極的に開催又は参加し、市民への周知活動を実施するほか、SNS 等も含めた情報発信を進め、「堺のめぐみ」の認知度と話題性を高める。 (オーガニックビレッジ) ○牛ふん堆肥の継続使用による経年影響や、牛ふんのペレット堆肥を用い、水稻への影響、労力の増減の検証を行い生産者への普及啓発に努めるほか、野菜等の生産者も含め、減農薬減化学肥料栽培の講習会等を開催する。消費者に対しては、令和 6 年産米については、そのおいしさのアピールに加え、本取組が分かりや

		すぐ伝わるようPRを兼ねた販売等を行う。	
スケジュール	前期 （～7月）	☐ 農業祭：開催内容の協議調整、準備（4～7月） ☐ 堺のめぐみ：PR販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（4～7月） ☐ オーガニックビレッジ：堺市有機農業実施計画の策定（4月） オーガニックビレッジ宣言の公表（5月） 令和6年産試験栽培の圃場管理、栽培開始（4～7月）	
	中期 （～11月）	☐ 農業祭：堺市農業祭運営協議会等の開催（8月） 第49回堺市農業祭の開催（11月） ☐ 堺のめぐみ：PR販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（8～11月） ☐ オーガニックビレッジ：減農薬減化学肥料栽培講習会の開催（10月） 試験栽培の圃場管理、収穫（8～11月） 収穫した米のPR（11月）	
	後期 （～3月）	☐ 農業祭：堺市農業祭運営協議会等の開催（1月） ☐ 堺のめぐみ：PR販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（12～3月） ☐ オーガニックビレッジ：収穫した米のPR（12～3月） 農家向け資料の検討、作成作業、次年産準備（12～3月）	
	次年度以降	☐ 農業祭：本年度の開催結果を踏まえ、よりよい農業祭となるよう関係者と協議し、開催する。 ☐ 堺のめぐみ：継続的に認知度向上と地域内利用の促進に取り組む。 ☐ オーガニックビレッジ：2年間の取組状況を踏まえ、試験栽培の内容検討や取組農家の拡充を図る。	
進捗の状況	前期 （～7月）	☐ 農業祭：開催内容の協議調整、準備（4～7月） 堺市農業祭運営協議会等の開催（7月） ☐ 堺のめぐみ：PR販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（4～7月） ☐ オーガニックビレッジ：堺市有機農業実施計画の策定（4月） オーガニックビレッジ宣言の公表（5月） 令和6年産試験栽培の圃場管理、栽培開始（4～7月）	
	中期 （～11月）	☐ 農業祭：第49回堺市農業祭の開催（11月） ☐ 堺のめぐみ：PR販売イベントや普及啓発活動の準備（8～9月） PR販売イベントや普及啓発活動の準備、実施（10～11月） ☐ オーガニックビレッジ：試験栽培の圃場管理、収穫（8～11月） 収穫した米のPR（11月）	
	後期 （～3月）		
2025 堺市基本計画	該当する施策	4-（7）次世代につなげる農業の促進	
	寄与するKPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね6か月以内）[現状値：参考値42.8%（2019年度）]	目標値（2025年度） 55.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 2	飢餓をゼロに
	寄与するKPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね6か月以内）[現状値：参考値42.8%（2019年度）]	目標値（2025年度） 55.0%